



社会福祉法人鶴風会

後援会ニユース

№23(平成元年)

社会福祉法人鶴風会

後援会

東京都武蔵村山市学園4-10-1

☎0425-61-2521

事務所・東京都中野区本町2-15-13 ☎03-372-7650

後援会ニユース23号をお届け致します。
今号は去る七月に行われました通所訓練棟落成開所式、並びに創立二十五周年式典の折りに諸先生から戴きました御祝の御言葉、通園児の御父兄の謝辞をおのせ致しました。又、当施設を見学されました熱海のソロプチミストの皆様が、感想文を御寄せ下さいました。御一覽下さいませ。

創立二十五周年を祝して

社会福祉法人鶴風会後援会
会長 近藤 龍一

創立二十五周年を迎えられましたことを心から御祝い申し上げます。

想えば十六年前、後援会会長就任を懇望されお引受けしてから、施設と星霜を共にして参りましたのが、今日のこの発展を拝見し夢のようにも思われます。

後援会をお引受けした当時、鶴風会は極度の財政難にあり、その存続すらも危殆に瀕する状態であったと承知しておりますが、その中で、早期療育の燈を消してはな

らないと、役職員の全員が必死の努力をされていたその事が、私の十六年間の支えでありました。

早期療育、そして総合療育と、その何れも時代の要求ではありましたが、常に先駆的に取り組んでこられたことにつきましては、先

駆であるが故の困難さは想像の他であろうかと推察する次第でございます。もって深甚の敬意を表しますとともに、この施設の関係者として誇りの念を禁じ得ないものがあります。

現在、後援会は、会員数二六〇〇名に達し、些かなりとも障害児の福祉のために資することが出来るようになって参りました。先般後援会支部が結成され、多くのご父兄や有志の方が、志を同じくされていくことを伺い、心から嬉しく存する次第でございます。

燈し続けた早期療育の燈が、更に大きな総合療育の炎となつて輝きを増し、益々の療育の向上が達成できますように我々後援会も一層の力をつけていき度いものと念じております。

各位の御多幸とご健勝を祈念しつつお祝いの御挨拶といたします。

落成の通所訓練棟 全景
内部は身体の御不自由な方々の療育がしやすい様、隅々にまで配慮がゆきわたり、明るく、清潔感にあふれています。

（建築設計 株式会社シグマ建築企画）
（施工 清水建設 株式会社）



祝 辞

東邦大学を代表し、また社会福

祉法人鶴風会の役員の一人として
お祝いを述べさせていただきます。

東京小児療育病院が、わが大学の
前身である帝國女子医専の同窓
会たる鶴風会によって開設された
のは、昭和三十九年でしたから、
本年をもって満二十五周年を迎え
ることになりました。

開設当時東邦大学は、労働争議

などで極めて流動的な状態にあり、
この病院の開設を全くご後援でき
なかつたのですが、龍先生はじめ
関係者各位の献身的な御努力によ
り終始堅実な歩みを続けて、今日
に至っております。

しかし病院の医療活動は、現在
の鈴木院長を御迎えすることによ
つて、従来にも増して内容の充実
度を高めることができるようにな
りました。たまたま本年二月、日

本児童家庭文化協会エリエール奨
励賞第一回贈呈式で、鈴木院長は
じめ医局の皆様がこの賞を受けら
れましたことは、病院の活動が、
専門領域でもその価値を認められ
たことを意味するものであり、私
共もこれを高く評価し、鈴木先生
に心から敬意を表したいと思いま

学校法人 東邦大学
理事長 桑原章吾

す。

今回重症心身障害児通所訓練棟
が定員25名の規模で完成したこと
は、日本の心身障害児のリハビリ
テーションに新しい方向を開く
ものであり、鈴木先生はじめ医局
の皆様が療育活動をさらに高度化
するものとして、私共もこの組織
の発展に大きな期待をよせており
ます。

鈴木先生はエクセル賞贈呈式
の御挨拶の中で「療育」というこ
とへの意義を次のように定義して
おられます。

「療育とは医学はもちろん、教
育をはじめとする、あらゆる科学
を総動員して、障害児に残存して
いる能力、回復する能力、障害を
代償する能力、の三つを引出す医
療行為である」

御列席の皆様方も「療育」の意
味が、極めて中広く、底が深いこ
とを強く印象に残していただき、
この病院の活動を温かく御支援い
ただきますようお願い致します。
最後に東京小児療育病院、みど
り愛育園のますますの内容の充実
と、関係者各位の御清栄をお祈り
して、御祝いの御挨拶と致します。

祝 辞

東邦大学学長

浅田 敏夫

一、創立者、龍知恵子先生をたた

えられ、この会の創立、発足
運営にあたられての御苦勞話

二、関係者全員のたゆまざる努力

により、今日この様に施設の
内容が充実して、内外共に指
導的役割を果している事に敬
意を表する。

三、意義深いこの仕事の、ますま
すの御発展を祈る。

東邦大学学長、浅田敏夫先生か
ら式典の乾盃の折りに戴きました
御祝辞の御要旨でございます。

謝 辞

通園父母代表

千ヶ崎達子

新棟の落成、おめでとうござい
ます。

御来賓の皆様、お忙しい中を祝
賀会に御参会くださいまして厚く
お礼を申し上げます。

この通園棟の新築につきまして
は皆々様の御支援の賜物と存じ、
通園生及び父母一同心より感謝し
ております。

私ごとではございますが、私は
子供が養護学校卒業後、在宅にな
りましたら親子で趣味でも楽しみ
ながら、生活すればいいじゃない
かと呑気に考えていました。が、そ
のうちに私自身、目まいと腰痛に
悩まされるようになりました。健

康には自信を持っていただけに、
今迄の張りつめていた糸がぶっ
と切れ、なにかをしようとする気
がなく、そんな自分に腹が立ち、
不安と焦りで平常心を失い、弱い
子供に当り散らすことも、しばし
ばでした。

家庭の中だけで面倒をみるこ
とは自分の子供であっても親に取
つては、すごい重荷になり、子供に
も悪い影響を与えることを痛感し
ました。そんなときに東京小児療
育病院で、成人重症児を対象に通

園施設を開所するらしいから相談
にいつてみたら？、と仲間のお母
さんから勧められ、断わられるの
ではないかと不安でしたが思い切
つてお願いにあげました。

現在、子供は通園に通い出して
三年目になります。お蔭様で、行
届いた職員の方の指導のもとで、生活
のリズムがすっかりし、そして仲
間のみなさんと楽しく過ごしてお
ります。私も又、気持ちに少しのゆ
とりが持てるようになりました。

この通園施設がますます充実し
発展するよう私たち父母一同、で
きる限り協力していかなくてはと
思っております。

これからも皆様の御支援をよろ
しくお願い申し上げます。

~~~~~

御寄附戴きます時の  
振込方法につきましては、  
唯今、後援会ニュースと合わせ  
て郵便局の振込用紙のみを同封致  
しておりますが、三菱銀行の方が  
御便利の御方はお手数ですが、左  
記に御送金をお願い申し上げます。

- 三菱銀行中野支店(店番一五〇)
- 普通預金
- 口座番号 四一〇七二三五
- 口座名 社会福祉法人

鶴風会後援会

国際ソロプチミスト熱海の皆様  
が東京小児療育病院、みどり愛育  
園を見学され、御感想文をお寄せ  
下さいました。

### 国際ソロプチミスト熱海

会長 長倉 妙

東京小児療育病院、みどり愛育  
園を見学させて頂きまして、誠に  
ありがとうございます。

病棟へ伺いました時は、只もう  
涙が溢れて困りましたが、婦長様  
のご説明を伺いながら病棟を廻り  
ますうちに、自分の認識不足を痛  
感致しました。我が身を恥じる一  
方で、あの清潔で、ほのぼのとし  
た環境は、理事長様をはじめスタ  
ッフの皆様の深い愛情と、叡知と  
熱意、そして素晴らしいチームワ  
ークによって支えられている事  
を感じました。近くに村山養護学校  
が出来ており、通学も出来、あた  
りは静かで良い環境だと思いまし  
た。

「あの子達を可哀そうだと考える  
人には、この仕事は出来ません」  
帰りしなのスタッフの方のお言  
葉をかみしめながら帰途につきま  
した。そして微力な私共ではござ  
いませぬが、何かお手伝いを、と話  
し合っております。外来通園シス  
テムのご成功を御祈り致します。

### 山田 英子

六月十三日、国際ソロプチミス  
ト熱海の認証記念行事として、東  
京小児療育病院、みどり愛育園を  
訪問させて頂き有難うございまし  
た。

明るくて広い建物の中に入り、  
理事長様はじめ係りの方のお話を  
伺いながら、一部屋づつ見学させ  
て戴きまして、不自由な身体にも  
負けず、リハビリに一生懸命挑  
戦している子供達、つぶらな瞳で  
遊んでいる幼児達の姿に胸が一杯  
になりました。

この感情を忘れずに、何時の日  
か再び訪問させて頂きたいと心に  
誓っております。

### 中田 菌子

Siソロプチミスト熱海九名は、  
レンタカーに乗り東京小児療育病  
院、みどり愛育園をおとづれた。

施設は決して立派な建物ではな  
かったが、清潔であり、整理整頓  
されていた。理事長をはじめ職員  
の方々のなみなみならぬ努力、人  
間愛は、床に臥している親の顔さ  
えも、情も知らぬ赤子の姿に、私  
のほほに熱いものが流れた。学童  
が私のネックレスをさわわり何かを

うったえたいまなざし、親の愛に  
はぐくまれた私にとつては胸のつ  
まる思いであった。

医者も、看護人もすべて人間愛  
で一日の生活がすごされてゆく、  
それは施設設備が、たとえ貧しく  
ともこの世の燈明であり、私共ソ  
ロプチミストのお仲間が、一つで  
も光のお役に立ちたいと願った。

玄関迄おみおくりを下さいまし  
た理事長（女医）の御仏の様な風  
格、人格に、車の窓から手を振っ  
てお別れした。又いつの日かくる  
事を。

自分の生涯の中で、「あー、来  
てよかつた」再度きつとおとづれ  
たい。そして人間のめぐりあい、  
和の中に、ソロプの皆様の御仲間  
を大切にそだててゆきたいと思っ  
た。そして現在の幸せを、神々感  
謝せずにはいられなかつた。

### 間瀬 幾子

言葉にならない。すさまじい迄  
の姿を目の前にして、私達と同じ  
人間なのかしら、同じ生を受けて  
こんな事が有り得るだらうか？、  
と信じきれない疑問が胸に迫りま  
した。どうして！、どうして平等  
でないのか、神に、仏に、ぶつっ  
けたい憤りを感じました。思えば

思う程、こみ上げてくる震えが後  
をたちません。耳の後のあたりが  
キューっとしめつけられる思いで  
肩が張りました。

普通の生活、普通の行動が出来  
る者にとって、しなければならな  
い責任と、想いが、ひしひしと感  
じられ、私の一生に不平とか、不  
満はもう決して云うまい。云つて  
はならない。そんな気持です。

後の人生は頭ではなく、体で受  
け止めたいと痛感しております。  
手を差し伸べて、愛のすべてを  
捧げていらつしやる皆様に、合掌  
致します。

### 浅野 京子

国際ソロプチミスト熱海の認証  
記念行事として、東京小児療育病  
院、みどり愛育園を訪問させて頂  
き、大変有難うございました。

理事長様はじめスタッフの皆様  
のゆきとどいた御配慮、熱意を目  
のあたり拝見させて頂き、胸の熱  
くなる思いでした。

生きる事の素晴らしさも又、勉  
強させられました。又の機会には  
非訪問させて頂き度く思っており  
ます。

## ☒ チャリティ・バザール ☒

平成元年11月19日(日)東京小児療育病院訓練棟

食料品・調味料・ウイスキー・石けん・洗剤・玩具・書籍・陶器・漆器・衣料品  
家具類・手芸品など御寄附いただけますよう、よろしく願い申し上げます。

○ お品物は出来ましたらお送りいただければ幸甚に存じます。

○ 連絡先 病院 東京都武蔵村山市学園4-10-1 ☎ 0425(61)2521

後援会 東京都中野区本町2-15-13(倉島医院方) ☎ 03(372)7650

後援会、後援会支部  
寄附者御芳名

バザー寄附者を含む  
元年三月(元年七月)延五六九名

- 阿曾 滋子・浅利 重子・青木 ゆう  
青木よし子・安西 美代・相沢ミツエ  
安部 マサ・青柳よし子・姉小路和子  
青木 悦・阿部 久代・阿部 賢語  
厚味かよ子・芦立 かつ・新井 恒子  
秋山 貞子・足立 嘉子・新 幸子  
赤尾 和子・朝山 浩行・安康佳寿美  
赤間てる子・朝山 裕・荒川 静子  
浅野 京子・犬飼 礼子・井上 照子  
井上 瑞穂・今野 信子・磯村 光  
飯国 桃夜・伊藤 禮・五十嵐いづ子  
稲垣 正子・石川 静子・稲垣 玲子  
伊藤 徳子・池田 愛子・石田 文枝  
諫山 高雄・稲葉 真理・伊東 カメ  
井上 裕子・一宮 勝也・石川 キタ  
市川ハナ子・石原 純・石原たけち  
伊藤梅雨子・井上 種子・居合 寿子  
伊藤 葛子・今野 綾子・石川 文字  
石井 幸子・石塚 敬直・今井まつ江  
石崎 満・五十嵐良典・井上美知子  
岩波つ子・今村貴美子・磯部 キミ  
石田 芳子・岩瀬 七重・伊藤 ヒサ  
飯田 和成・石垣 恭子・井上 和子  
岩淵千雅子・伊藤 克子・浦田 絹枝  
白井 重三・内ヶ崎仁子・浦田とめ子  
牛込狂一郎・梅原 公江・上田 茂  
梅田 寛子・漆畑 内田 耕  
上末 艶子・白井 彰・鶴川美登里  
内田 博子・上野 貞茂・上村 英子  
上田 寿子・浦田 隆弘・江田 フジ  
江口 環禧・江川 巖・江川 惠基  
江部 寛・小川 再治・小川 昭子  
小川 文字・大久保秀雄・及川 貞  
岡田 孝子・緒方 月・大脇 照枝  
奥田 嘉門・織田 秀夫・沖津 くら  
大関 忍・小田切弘人・大熊 進  
忍 光子・柴山 精一 入 円祐  
二宮 文乃・西本 麗子・西岡 将  
守田 文彦・森 彦・森 勉  
忍 光子・柴山 精一 入 円祐  
二宮 文乃・西本 麗子・西岡 将  
守田 文彦・森 彦・森 勉  
忍 光子・柴山 精一 入 円祐  
二宮 文乃・西本 麗子・西岡 将  
守田 文彦・森 彦・森 勉  
忍 光子・柴山 精一 入 円祐  
二宮 文乃・西本 麗子・西岡 将  
守田 文彦・森 彦・森 勉

編集後記

今年是不順な夏でしたが、皆様  
如何お過ごしでしたか、皆様  
去る七月八日の通所訓練棟落成  
式には、多数御出席賜り厚く御礼  
申し上げます。  
又、お忙しい中、その折の御祝  
詞や御見学下さった方々からも  
心暖る感想文を頂き、ニュースも  
盛況山に掲載する事が出来ました。  
有難うございました。  
小川記

編集人 青山 照子  
青川 慈子  
青川 照子  
発行人 鶴風会後援会  
印刷所 石沢印刷  
中野区本町二丁目三三三